

記載例

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書

報告書は4部提出する
(うち1部は事業者控えとしてお返します。)

国土交通大臣 **国土 太郎** 殿

報告書提出日現在の国土交通大臣の氏名を記入する。

自動車の使用者の氏名又は名称 **〇〇株式会社**

住所 **北海道〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号**

電話番号 **〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇**

令和 **〇〇** 年 **〇〇** 月 **〇〇** 日 提出

事故発生から30日以内に提出する。

時間は24時間制で記入する。

☆発生日時	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 〇〇 時 〇〇 分	☆路線名又は道路名	
天 候	① 晴れ 2曇 3雨 4雪 5霧 6その他		
☆発生場所	北海 都 道 府 県 札幌 区 市 郡 北 区 町 村 〇 丁目 〇 番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置	〇〇株式会社 〇〇営業所 北海道 〇〇 市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号	☆自動車登録番号又は車両番号	札幌 〇〇 あ 〇〇〇〇

・道路名は、国道、道道、市道など具体的に記入する。
・高速道路等の場合はその名称を記入する。
・高速道路の場合は「上り線」、「下り線」の区分を記入する。

地番まで記入する。

営業所名まで記載する。

トレーラーの場合は、けん引車と被けん引車の両方を記載する。

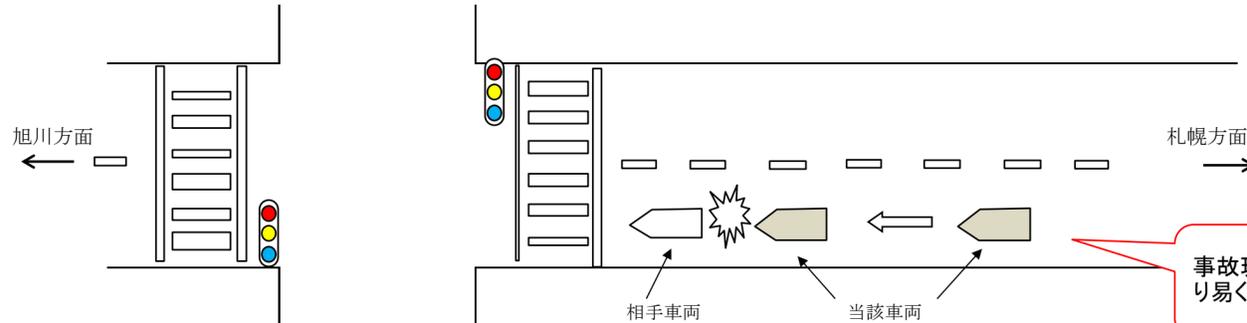
☆当時の状況

当該運転者は〇月〇日午後〇時に出社し、日常点検実施後に乗務前点呼を午後〇時〇〇分に受け荷主の〇〇に向け出庫した。午後〇時に〇〇に到着し荷物を積み込み、午後9時に〇〇市に向け出発。その後、上記場所付近の国道〇〇号線を時速約70キロで走行中、赤信号で停車していた乗用車に気付くのが遅れ、慌ててブレーキを踏んだが間に合わずに追突し、相手の乗用車の運転者に重傷を負わせた。

相手方運転者 **〇〇**歳・女性 右大腿骨骨折 2ヶ月入院

当該運転者 **〇〇**歳・男性 頭部打撲 2週間通院治療

☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること）



・次に掲げるものを(何処で、誰が、どんな事を、どれだけの要領で)出来る限り詳細に記載する。
イ. 出発地、出発時刻、目的地
ロ. 運行の状況、乗車人員、積載物・量
ハ. 事故当時の速度、位置関係、乗務員のとった措置、事故後の状況、地形、道路状況、スリップの軌跡
ニ. 死傷者の性別、年齢、負傷者の程度(当事者と相手側とを分ける)

事故現場の見取り図を分かり易く記載して下さい。

警察、会社等への連絡、死者又は負傷者にとった処置、病院への収容状況、旅客、積荷等の処置を記入する。

☆当時の処置 当該運転者はハザードランプを点けて降車した後、乗用車の運転者が怪我を負っている事を確認したため、至急、消防と警察に連絡をし、二次被害を防ぐ為に発煙筒を吹き後続車へ注意をうながした。その後、被害者は病院に搬送され、当該運転者は警察の取り調べを受ける為に〇〇署へ移動した。

☆事故の原因 脇見運転により前方の停止車両の発見が遅れた事とスピードの超過

警察の調書、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入

☆再発防止策 乗務員全員を集め、当該事故について周知徹底するとともに、停止車両を発見した場合には早めのブレーキを心がけ、速度違反についても法令遵守するよう指導を行った。

事業者として講じた再発防止策を具体的に記入。

※備考

衝突事故時のみ記入する。
 [正面衝突]...自動車同士が相手方と対面して接近し、衝突又は接触した場合
 [側面衝突]...自動車同士が相手方と対面方向又は同方向以外の方向に進行して衝突又は接触した場合
 [追突]...自動車が相手方と同方向に進行して衝突又は接触した場合で次の接

『衝突』
 ・自動車又は原付と衝突・接触し当該車両に乗っている者を死傷させた場合
 ・家屋その他の物件と「衝突」し、付近にいた人を死傷させた場合

『死傷』
 ・歩行者又は自転車を撥ね死傷した場合
 ・走行中の車両への飛び乗り又は飛び降り等によって死傷した場合

発生した事故の種類を区分番号に○をする。
 (2種類以上の事故の場合は、もっとも大きな被害を発生した事故の種類とする。飲酒等・救護違反の場合は両方記載。)

2種類以上発生した場合は、その発生順に従い数字を記入する。

その場所と内装の異なる場合は、最も一般的なものを記入する。

路肩部分を含む道路(車道と歩道の区別がある場合は、車道の総幅員を記入する※歩道は含まない)

貸切旅客の場合は、運送契約の相手方氏名・名称、住所、旅行業法の旅行業者の場合は、その番号を記入する。

事故区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
☆発生順						○												
☆転落の状態	落差 m					水深 m												
衝突時の状態	1 正面衝突 4 接触					2 側面衝突 5 物件衝突					3 追突							
☆車名	☆型式			☆車体の形状			☆初度登録年又は初度検査年											
	○○			ABC-DFG123			バン			令和2年								
事業用	1 乗合旅客 3 乗用旅客 5 一般貨物 (イ特別積合せ貨物 ロその他)				2 貸切旅客 4 特定旅客 6 特定貨物 8 貨物軽 (四輪)				7 特定第二種 9 貨物軽 (三輪以下)									
家用	1 有償貸渡し (レンタカー) 2 有償旅客運送				3 その他													
種別	1 普通				2 小型				3 その他									
☆乗車定員	2 人				☆当時の乗車人員				1 人									
☆最大積載量	4,000 kg				☆当時の積載量				3,000 kg									
安全運転支援装置	衝突被害軽減ブレーキ				1 有 2 無				ドライバー異常時対応システム				1 有 2 無					
許可等の必要性	制限外許可				1 有 2 無				特殊車両通行許可				1 有 2 無					
許可等の取得状況	制限外許可				1 有 2 無				特殊車両通行許可				1 有 2 無					
貨物の内容	1 土砂等				2 長大物品等				3 コンテナ									
	4 生コンクリート				5 危険物等				6 冷凍、冷蔵品									
	7 原木、製材				8 引越				9 その他									
積載物の種類	1 有				2 無													
☆品名及び積載量又は放射能の量	品名 () kg、1				品名 () Bq													
イエローカードの携行状況	1 有				2 無													
道路状況	1 道路 (イ高速自動車国道 ロ自動車専用道路等) 2 その他の場所																	
☆道路の幅員	12 m																	
道路の形態	1 直線				2 右曲り				3 左曲り									
	4 交差				5 つづら折り													
路面の状態	1 乾				2 湿				3 積雪				4 氷結					
警戒標識の設置	1 有 2 無				☆当該道路の制限速度				50 km/h									
☆当時の運行計画	(発地・経由地・着地) ○時○分に営業所を出庫、○時○分に○市で積荷を積み込み○市を經由、○時○分○市で荷物をおろし、○時○分営業所に帰庫																	
☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等(貸切旅客のみ)																		
安全性優良事業所の認定(貨物のみ)	1 有				2 無													
運送形態	1 下請運送				2 その他													
☆荷送人の氏名又は名称及び住所	○○株式会社 ○○市○○区○○丁目○○番地																	
☆荷受人の氏名又は名称及び住所	○○株式会社 ○○市○○区○○丁目○○番地																	

☆危険認知時の速度	70 km/h		
☆危険認知時の距離	20 m		
☆スリップ距離	10 m		
当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進 (加速) 4 後退 7 左折 10 転回	2 直進 (減速) 5 追越 8 駐車 11 合流	3 直進 (定速) 6 右折 9 停車 12 その他
道路上での事故の場合には事故発生地点	1 車道 4 路側帯 6 交差点 8 トンネル	2 歩道	3 横断歩道 5 路肩 7 バス停留所 9 その他
死傷事故の場合には死傷者の状態	1 左側通行 3 信号無視 5 歩道通行 7 車の直前横断 9 飛び出し 11 路上作業 13 乗降中 15 自転車運転	2 右側通行 4 車道通行 6 横断歩道歩行 8 斜横断 10 路側帯 12 路上遊戯 14 安全地帯 16 その他	
車両の故障に起因する場合には故障箇所	1 原動機 (速度抑制装置を除く) 2 速度抑制装置 3 動力伝達装置 4 車輪 (タイヤを除く) 5 タイヤ 6 車軸 7 操縦装置 8 制動装置 9 緩衝装置 10 燃料装置 11 電気装置 12 車枠及び車体 13 連結装置 14 乗車装置 15 物品積載装置 16 窓ガラス 17 騒音防止装置 18 ばい煙等の発散防止装置 19 灯火装置及び指示装置 20 反射器 21 警音器 22 視野を確保する装置 (後写鏡、窓拭き器等) 23 計器 (速度計、走行距離計等) 24 消火器 25 内圧容器及びその附属装置 26 自動運行装置 27 運行記録計 28 その他		
☆氏名	○○ ○○		
☆年齢	○○ 才		
☆経験年数	○○ 年 ○○ 月		
自動車の運転を職業とする者又は勤務状況	本務・臨時の別 1 本務 2 臨時	☆事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数 ○○ 日	
	☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離 ○○ 時間 ○○○ km	☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計 勤務日数 ○○ 日 乗務距離 ○○ km	
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷		
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備		
☆交替運転者の配置	1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 時間 km 2 無		
☆アルコール依存症のスクリーニング検査の受診状況	1 有 (最近の受診年月日) 年 月 日 2 無		
☆飲酒の時点及びその飲酒量	1 運行前 (飲酒量) 2 運行中		
☆過去3年間の事故の状況	(過去3年間の事故件数) 0 件 (最近の事故年月日) 年 月 日		
☆過去3年間の道路交通法の違反の状況	(過去3年間の違反件数) 1 件 (最近の違反年月日) 令和○○年○○月○○日		
☆過去3年間の適性診断の受診状況	1 有 (最近の受診年月日) 令和○○年○○月○○日 2 無 (適性診断受診場所) ○○機関 札幌支所		
☆最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日) 令和○○年○○月○○日		
☆氏名	○○ ○○		
☆年齢	○○ 才		
☆経験年数	○○ 年 ○○ 月		
本務・臨時の別	1 本務 2 臨時		
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷		
業務場所の別	1 車両内 2 車両外		
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備		
☆最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日) 年 月 日		
本務・臨時の別	1 本務 2 臨時		
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷		
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備		
☆運行管理者	運行管理者 貨物軽自動車安全管理者 氏名 ○○ ○○ 運行管理者資格者証番号 又は 貨物軽自動車安全管理者講習修了番号		
☆運行管理者等	北札貨物第○○○号 北札貨物第○○○号		
☆損害の程度	◆死亡	1 人 (うち乗客 人)	
	◆重傷	1 人 (うち乗客 人)	
	◆軽傷	1 人 (うち乗客 人)	

危険と感じて、ブレーキやハンドル等を操作する直前の車両、歩行者、施設等までの距離

当該自動車の大部分が位置していた場所

当該自動車を運転する事が出来る資格を得た時からの運転経験期間

運送事業者から当該事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」、それ以外を「臨時」

酒気帯び運転を伴う場合に記載する。

事業用自動車の乗務中のものを記載する。

「死亡」は、事故発生後24時間以内に死亡した場合に該当する。

(留意事項)

- ・記入の必要がない欄には斜線を引くこと。
- ・☆印欄は、具体的に記入すること。
- ・※印欄は、記入をしないこと。
- ・◆印欄は、車両故障のみの場合は記入不要です。
- ・健康状態に起因する事故の場合、[別表2]に掲げる調査事項を調査の上、提出すること。
- ・車両故障に起因する事故の場合、[別表3]に掲げる調査事項を調査の上、提出すること。

原則、医師の診断結果に基づき記入する。